

令和6年度「あきたサステナビリティスクール」カリキュラム

分類	大学院 共通科目	NO.	授業科目名	授業時間	単位 ※2	講師名	所 属	
ス ク ー ル 科 目 A 群	新 エ ネ ル ギ ー 利 用 論 Ⅰ	1	エネルギー変換の基礎	1.5	12	1	田島克文	秋田大学大学院理工学研究科
		2	風力発電-概論-	3			三島 望	秋田大学大学院理工学研究科
		3	風力発電-風車-	1.5			杉山 渉	秋田大学大学院理工学研究科
		4	秋田の再生可能エネルギー※1	1.5			湊谷晃清	秋田県産業労働部
		5	大容量二次電池	1.5			熊谷誠治	秋田大学大学院理工学研究科
		6	電力系統工学	1.5			田島克文	秋田大学大学院理工学研究科
		7	地熱発電	1.5			福山繭子	秋田大学大学院理工学研究科
	新 エ ネ ル ギ ー 利 用 論 Ⅱ	8	バイオマス利用技術	1.5	12	1	古林敬顕	秋田大学大学院理工学研究科
		9	小水力発電の基礎	1.5			田島克文	秋田大学大学院理工学研究科
		10	太陽光発電	1.5			山口留美子	秋田大学大学院理工学研究科
		11	地中熱利用技術	1.5			田子 真	秋田大学名誉教授
		12	水素活用技術※1	3			遠田幸生	秋田県産業技術センター
		13	再生可能エネルギーのLCCとLCA	3			三島 望	秋田大学大学院理工学研究科
	資 源 リ サ イ ク ル 論	14	非鉄金属製錬におけるリサイクルとその推進力※1	3	12	1	川村 茂	秋田大学大学院国際資源学研究科
		15	資源分離とリサイクル	3			柴山 敦	秋田大学大学院国際資源学研究科
		16	リサイクル性設計論	3			三島 望	秋田大学大学院理工学研究科
		17	金属資源開発とリサイクル	3			安達 毅	秋田大学大学院国際資源学研究科
スクール科目A群 総時間数				36				

※1 スクール科目A群（36時間）のうち7.5時間は実務家（秋田県関係者含む）による講義

※2 将来、本学大学院理工学研究科の正規生として進学された場合は、所定の手続きを経て本プログラムの履修単位を入学後に修得したものとみなすことができます。（進学した専攻により修得単位が異なります。）

分類	NO	授業科目名	授業時間	講師名	所 属	
ス ク ー ル 科 目 B 群	18	県内事業者の風力発電への取組み	1.5	19.5	佐藤裕之	(株)ウェンティ・ジャパン
	19	再生可能エネルギーと地域の新たなデザイン ～事業開発における障害と解決策～	1.5		平野久貴	ユナイテッド計画(株)
	20	都市鉱山開発の課題と未来展望	3		大木達也	産業技術総合研究所
	21	秋田県の環境・リサイクル産業の振興等について	1.5		松田光明	秋田県産業労働部
	22	秋田県における地球温暖化対策について	1.5		櫻庭佑己	秋田県生活環境部
	23	エコタウン企業内の具体的な取組	1.5		小泉 剛	秋田エコプラッシュ(株)
	24	環境とリサイクルに関する法及び規制	3		津村 守	津村コンサルタンツ事務所
	25	環境とリスクマネジメント	3		津村 守	津村コンサルタンツ事務所
	26	プラスチックのリサイクル	3		加茂 徹	早稲田大学理工学術院総合研究所
	27	フィールド研修（2回×3.5h）	7		秋田県内企業の見学など	
28	サステナビリティスクール課題研究（必修科目）	11.5	【課題探求型授業】 秋田県が強みをもつ新エネルギー、環境・リサイクル産業の課題を調べ、その解決法を提案する。 （双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）			
時間数総計			74.0	うち、実務家または双方向の講義は38.5時間		

※スクール科目B群（19.5時間）はすべて実務家による講義